



ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その40

前回に続き、磯崎新氏による作品で、静岡市にある通称「グランシップ」[静岡コンベンションアーツセンター]です。新幹線の車窓から見えるので、知っている方も多いと思います。前回作品と同じ1999年の竣工で似た雰囲気を感じますが、微妙に立面の曲線や素材が違います。本来のファサードは、写真と反対の西側ですが、少し怖い「顔」をしています。

CURRENTLY WORKS



薬膳火鍋 シャングリラ その2 エントランス

エレベーターで地下2階へと降り、扉が開くと、正面に、この光格子に浮かび上がる店名が現れます。店内への期待感を抱かせるこの場所には「兵馬俑」のディスプレイとともに、弧を描く赤い布が垂らされ、その隙間に、オリジナルの光のオブジェが置かれています。来店された方はこの光格子に沿った、灰暗いアプローチを経て、ホールへと導かれます。

PRIVATE TOPICS



関山の地元探訪記 その9

北区にある「久国寺」に参拝してきました。閑静な住宅地にありますがこのお寺の境内には、アーティストの岡本太郎氏の、1965年の作品である梵鐘「歓喜の鐘」が吊るされています。独特の突起のせいか、不思議な音がするそうですが、芸術作品であるためか「突かないで!」の貼紙が…子年の守り本尊ですので、来年の子年に参拝してみてもはどうでしょうか?

EDITORIAL NOTE

11月になると、低地の紅葉が盛りを迎えます。「もみじ狩り」という、風情のある言葉もありますがこの「もみじ」…実は、生物学には存在しない名称で、植物の種類を表す言葉ではないそうです。学名は「カエデ」であり「紅葉」とかいて「もみじ」と読むのは俗語だそうです。ご存知でしたか?

編集担当：太田・藤原